

# Mr. Bassman (ベースマン列伝) Vol.38

ジャズにおいてベース弾きとは、縁の下の力持ち、水先案内人といったやや日陰の存在。おまけに、ウッドベースなら持ち運びも大変……。だが、黙々とベースをウォーキングさせ、バンドをスイングさせることに魂を注ぐベースマンが、一度化けの皮を剥くとももの凄い名演・名盤が生まれるのだ。このコーナーでは、そんなジャズ・ベースマンの偉業を称えるとともに、ジャズ・ベースの素晴らしさを伝えていきたい。

## Avishai Cohen 【アヴィシャイ・コーエン】



写真提供 / COTTON CLUB 撮影 / 米田泰久

### Profile

1970年4月20日生まれ。イスラエル出身。6歳からピアノを弾き始める。14歳の時に父親の転勤で米国セントルイスに移住。そこでジャズと出会い、ジャコ・パストリアスに影響を受け、14歳でエレキ・ベースを手にする。16歳の時にイスラエルに戻り空軍に従事するが、ミュージシャンとして生きていくことを決意し、エルサレムのライヴハウス等で演奏活動を開始。その後、母国の音楽活動環境に限界を感じ、自身のスキル・アップのために92年単身渡米し、ニューヨークで音楽活動を開始。当初の音楽活動は地下鉄や公園だったが、グリニッジ・ヴィレッジやブロンクスのジャズクラブで経験を積み、ウィントン・マルサリス等と共演する機会を得る。96年にダニロ・ベレスの「パナモンク」に参加し注目を集める。その後、チック・コリアに才能を認められ、97年にチック・コリア&オリジンのメンバーとなり世界的に脚光を浴びる。98年に初リーダー・アルバム『アダマ』リリース。2014年にリリースされた14枚目のオリジナル・アルバム『アルマー』が現時点の最新作。ジャズの枠を超えてロンドン交響楽団やイスラエル交響楽団、ポスト・ポップス管弦楽団との共演、イスラエルでのジャズフェスの音楽監督も務め、ヴォーカルも魅力。母国イスラエルを拠点に世界中で活躍中。現在44歳。

## イスラエルが生んだ天才&カリスマベースマン

あのチック・コリアに「天才」と言わしめた逸材で、米国の老舗ジャズ誌『ダウンビート』では「地球規模のジャズの夢想家」と称され、米国の『ベース・プレイヤー』誌でも「20世紀で最も影響力のある100人のベース・プレイヤー」に選ばれたアヴィシャイ・コーエン。ブラジルの総合格闘家ヴァンダレイ・シウバを彷彿とさせるような風貌にも男気を感じさせ、強靱なベース・プレイは凄まじいという表現がピッタリ。ジャズの枠にとらわれず、クラシックや独特なリズムを持つ民族音楽の要素も感じさせ、そのサウンドにはオリジナリティ満載。尚、同じくイスラエル出身の同性同名のジャズ・トランペッターがいるが、勿論、全くの別人なので要注意。今後も大注目のベースマンだ。

【Avishai Cohen Official Site : <http://avishaicohen.com/>】

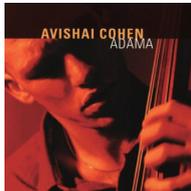
### AC's Great Albums

チック・コリア&オリジンは必聴。これまで14作のリーダー作品をリリースしており、どのアルバムも話題性抜群でジャケットもカッコいい。今後の作品群にも要注目です。



**チック・コリア&オリジン**  
**チック・コリア&オリジン**  
(ユニバーサル・ミュージック・MVCL-24008)

話題の新人だったアヴィシャイが参加し、チックをアコースティックの世界に引き戻した作品としても話題となったアルバム。1997~1998年録音。



**アダマ**  
**アヴィシャイ・コーエン**  
(ユニバーサル・ミュージック・MVCL-24007)

チック・コリアとの共同プロデュースでリリースされたアヴィシャイの初リーダー作品。オリジンのメンバー等も参加。全14曲収録。1998年録音。



**デュエンデ〜聖霊**  
**アヴィシャイ・コーエン**  
(ワーナーミュージック・TOCJ-90075)

アヴィシャイが惚れ込んだピアニスト、ニタイ・ハーシュコヴィッツとのデュエット作品。オリジナルとスタンダード曲の演奏も秀逸。2012年録音。



**アルマー**  
**アヴィシャイ・コーエン**  
(ワーナーミュージック・WPCR-15557)

現時点でのアヴィシャイの最新作。ストリングスをバックにジャズとクラシックの融合に挑んだ渾身の一枚。ベース&歌も聴ける。2012~2013年録音。